

認知症と安城市

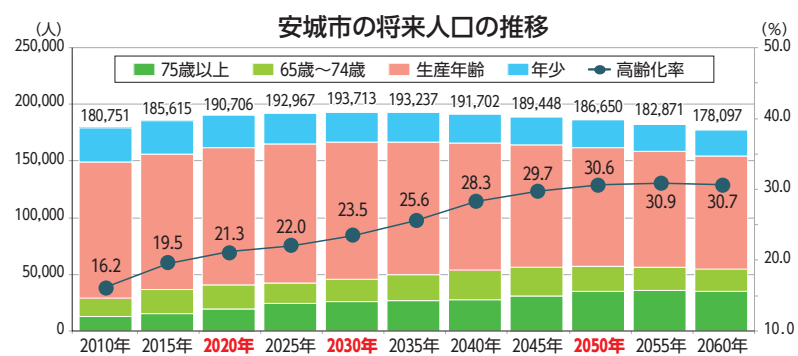
人は歳を重ねる過程で、認知症になる可能性が高くなります。今は認知症と無縁の人も、いずれ自分や家族、周囲の人がなりうる身近な病気です。高齢化が進む本市の現状と、認知症になっても安心して住み続けられるまちづくりを目指す市の取組みの一部を紹介します。

(※)認知症とは脳の病気で、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出る状態(概ね6カ月以上継続)。

市の状況(令和4年5月1日時点)

人口……………18万9902人
 65歳以上人口……4万920人
 高齢化率……………21.64%(令和3年全国の割合29.1%)
 認知症高齢者数…約7300人

(2015厚労省老健局公表「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」による速報値各年齢の認知症有病率が上昇する場合の将来推計より計算)



出典：第8次安城市総合計画

2020年 高齢化率21%を超え、「超高齢社会」となった
 2030年 総人口のピークを迎え、その後減少
 2050年 高齢者数は1.94倍(2010年比)

65歳以上の5~6人に1人は認知症とされています。

加齢によるもの忘れと認知症の違い



〈加齢によるもの忘れ〉

- 体験の一部を忘れる
例)朝ご飯に何を食べたか思い出せない
- もの忘れの自覚がある
- 日は多少間違えても、月は間違えない。場所や人は覚えている
- 感情や意欲に大きな変化はない
- 日常生活に大きな支障はない

〈認知症によるもの忘れ〉

- 体験そのものを忘れる
例)朝ご飯を食べたこと自体を忘れてしまう
- もの忘れをしている自覚がない
- 日時、場所、人等が分からなくなる
- 感情や意欲に変化がみられる
- 日常生活に支障がある

もしかして、認知症? // そんな時は、「認知症ガイドブック」 //

家族が認知症かな?と心配になった時から、その進行状況に合わせて、市にはどのような支援があるのかをイラストや図、表を使って分かりやすく案内しています。



認知症に気づくためのチェックシート

日常生活で以下のような出来事がいくつかみられるときは、認知症のサインかもしれません。一度かかりつけ医や専門医療機関に相談されることをお勧めします。

- もの忘れ(置き忘れ、しまい忘れ)が多くなってきた。
- 同じことを何度も聞いてくる、言っている。
- 今まで出来ていたことに対して確認することが多くなってきた。
- 最近、怒りっぽい。些細なことですぐに怒り出す。
- 意欲がなくなった。自分から何もしない。
- 「えっ!」と感じることが最近多くなってきた。

参考：八千代病院 認知症高齢者支援センターHPより

●主な内容

- 認知症の相談の流れ
- これからの暮らしのヒント
- 認知症カフェやサロンの紹介
- 介護保険サービス一覧
- 認知症相談機関一覧 他
高齡福祉課・各地域包括支援センター・各福祉センター・各地区公民館・市HPで配布しています。



●支援の輪を広げる取組み

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症に関する知識を持ち、地域で認知症の人や家族に対し、できる範囲で手助けする人。受講後に認知症サポーターの証として、オレンジリングをお渡しします。



オレンジリング

見守り活動

企業の協力による「高齢者見守り事業者ネットワーク」「あんじょう認知症 思いやり 企業」や町内福祉委員会の見守り活動、民生委員、認知症地域支援推進員等、認知症の人への見守りの輪が広がっています。

●認知症の人や家族への支援の取組み

身近な地域の相談窓口

市には、中学校区ごとに高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターや、介護者のつどいや地域のサロン活動等の相談の場として各福祉センターがあります。

包括支援センター

東山	地域包括支援センターさとまち	☎(96)3512
安城北	地域包括支援センター中部	☎(71)0077
篠目	地域包括支援センター八千代	☎(97)8069
安城南	地域包括支援センター更生	☎(77)9948
安祥	地域包括支援センター松井	☎(55)5355
安城西	地域包括支援センターあんのん館	☎(71)3173
明祥	地域包括支援センターひがしばた	☎(73)8210
桜井	地域包括支援センター小川の里	☎(73)3535
全体	市高齡福祉課	☎(71)2264

福祉センター

北部	☎(97)5000
中部	☎(76)0090
作野	☎(72)7570
総合	☎(77)7888
安祥	☎(73)5757
西部	☎(72)6616
明祥	☎(92)3641
桜井	☎(99)7365



認知症カフェ

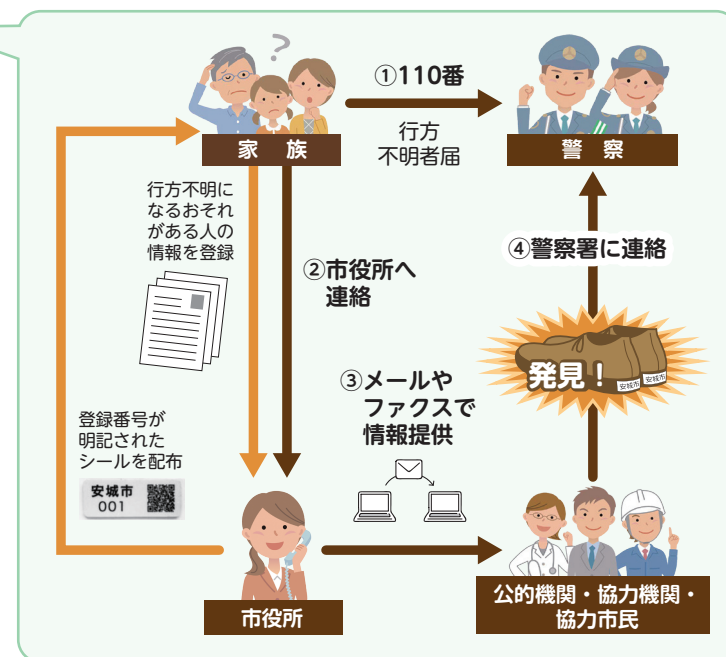
地域の人や介護事業所等が中心となって運営する、認知症の人や家族、地域の人等、誰でも参加でき安心してくつろげる場所です。

●安心して外出できる取組み

安城市見つかるつながるネットワーク

認知症等で行方不明になるおそれがある人の情報を事前に市に登録することで、行方不明になった際、公的機関・協力機関への連絡や、安城市安全安心情報メールを配信する等により早期発見・保護につなげます。

問合せ→高齡福祉課、各地域包括支援センター



個人賠償責任保険

日常生活における偶然な事故でご家族等が損害賠償責任を負った場合等に保険金の支払いを受けられる場合があります。

※対象については問い合わせてください。

問合せ→高齡福祉課